

●2012年1月

- 2012/01/31 [大統領制, プラチャンダ提唱](#)
- 2012/01/28 [中国熱烈歓迎, 長崎](#)
- 2012/01/26 [キリスト教バディ学校設立](#)
- 2012/01/24 [死命を制すセキュリティ・ソフト](#)
- 2012/01/22 [存在感ます中国と韓国](#)
- 2012/01/18 [「ネパール=中国友好年」と「ルンビニ観光年」](#)
- 2012/01/14 [中国首相の訪ネと自由チベット弾圧](#)
- 2012/01/13 [韓国のルンビニ開発援助, 政府受諾決定](#)
- 2012/01/12 [ルンビニ開発への懸念, ユネスコ書簡](#)
- 2012/01/08 [鄧小平伝出版, 日本モデルから中国モデルへ](#)
- 2012/01/06 [民主主義か能力主義か? 火だるまの包摂参加法案](#)
- 2012/01/05 [ソニー・リーダーの実用性?](#)
- 2012/01/04 [高島・端島と三菱財閥, 軍事都市・長崎](#)
- 2012/01/03 [ネパール投資年 2012](#)
- 2012/01/02 [ネパール雑貨満載, 長崎駅ビル](#)
- 2012/01/01 [2011 in review](#)

[大統領制, プラチャンダ提唱](#)

プラチャンダ議長が、また大統領制を唱え始めた。人民直接選挙による大統領制は反民主的ではないし、人民主権と国民統合の維持には議院内閣制よりも適切だという。

たしかに議院内閣制は、政党政治が熟していないと、不安定となりやすい。ネパールの場合、1990年憲法時代以来、政党内閣はいつまでも安定せず、1年前後で交代するのがほぼ慣例となっていた。政党の組み合わせも、権力ほしさのあまり党是も何も無視し、ありとあらゆる可能性が試みられたが、いずれもダメであった。野合、無節操の極みだ。

それでも90年憲法体制では、最後の拠り所として国王がいた。さんざん悪口を言われ、事実、芳しくない行為も多々あったが、少なくとも国家統合の最後の切り札としての国王(制度としての王制)の存在は大きかった。(「王制」アレルギーの方々には、朝日新聞の2012年正月特集をご覧ください。王制(君主制)による民主主義批判が展開されています。)

ところが、「民主革命Ⅱ」により王制は廃止され、しかも西洋押しつけ包摂民主主義により議会は多党乱立となり、行政も何もかも各種利益集団の割拠となった。議会は何も決められず、行政はコネ・ゴネがさらにひどくなった。

これはイカンと思ったのは、われらがプラチャンダ議長だけではない。ネルー大卒で駐印大使も務めたロックラジ・バラールらも、政治的安定と経済発展には大統領制が必要だと唱え始めた。

大統領制は、いわば「選挙王制」。いま破竹の勢いの橋下大阪市長が、なぜ大胆な政策を打ち出し実行できるかといえば、直接人民(市民)により選挙された一種の「国王(君主)」だからである。「選挙」王制だから、血統世襲王制ほどの安定継続性はないが、変節朝日新聞が正月早々賞賛した王制の他の非民主的特徴の多くは、備えている。それを橋本市長はうまく利用しているのだ。

プラチャンダ議長の大統領制提唱には、おそらく自分が大統領となり、マオイスト人民独裁を達成しようとの野望もあるだろう。しかし、ネパールの現状を見ると、議院内閣制の未来は暗い。

私自身は、いまのネパールには完全な儀式的象徴君主制が望ましいと思うが、それが無理なら、やはり大統領制がよいだろう。正月の朝日新聞を読み、その思いをますます強くした。プラチャンダ議長、頑張れ!

■[ネパール王制と天皇制：苅部直「新・皇室制度論」をめぐって](#)

■ [Unitary State, Ceremonial Head and Japan's Role in Peace Process \(2007.9\)](#)

* Rising Nepal, 2012-01-23,25.

谷川昌幸(C)

2012/01/31 11:29

カテゴリー: [国王](#), [憲法](#), [民主主義](#)

タグ: [王制](#), [議院内閣制](#), [Prachanda](#), [包摂民主主義](#), [大統領制](#)

[中国熱烈歓迎, 長崎](#)

長崎は、位置的には、東京よりも中国に近い。しかも、没落日本に比べ、中国は昇竜の勢い。韓国依存を深める対馬に続き、長崎も中国依存に向かいそうだ。

すでに長崎の街には中国や韓国から大勢の人が来ているし、春には HIS が上海定期客船を運航する。ハウステンボスを再建した商売上手の HIS、豪華客船で多くの観光客を連れてきてくれるだろう。

ヒステリックな嫌中など、東京の時代錯誤国粹主義者どもに任せておけばよい。長崎には、13億の大国中国がついている。兵器産業依存などより、中国との互惠繁栄の方がはるかに健全だ。

この春からは、中国客満載の HIS 豪華客船が三菱造船所のすぐ側を往来する。イージス艦だろうがミサイル搭載艦だろうが、ぜ〜んぶ丸見え。当然、パチパチ撮られ、中国でばらまかれ、ネットでも流されるだろう。

これはたまたま、軍機が守れない、といって軍事産業が撤退してくれたら、しめたもの。長崎は、宿痾の軍事産業依存から脱却できるかもしれない。よい時代になったものだ。



■ 入場制限中の長崎中華街(2012.1.28)



■立錐の余地なき湊公園(2012.1.28)

谷川昌幸(C)

2012/01/28 21:13

カテゴリー: [経済](#), [外交](#), [中国](#)

タグ: [長崎](#), [軍事産業](#), [日中関係](#)

[キリスト教バディ学校設立](#)

オーストラリアの Christian Community Ministry(CCM)が、カトマンズにバディ児童のための「キリスト教コミュニティ学校」を設立した。

バディは、ダリットの中でも最も差別されている人々であり、生計のため売春を強いられてきた。現在、4～7万人とされている。これは最悪の人権侵害だが、救済は一向に進まず、2007年には全裸デモさえ予告されたものの、実行には至らなかった。

■[売春カーストと性産業セックスワーカー](#)

このダリット救済のため、CCMが Educate Nepal を通して設立したのが、「キリスト教コミュニティ学校」。幼稚園から5年生まで、400人の収容能力がある。すでに16郡から180人のバディ児童が入学し、宿舎で生活している。CCMは、このタイプのキリスト教学校を全75郡に設立する計画だという。

バディ児童、特に女兒の救済は最優先課題だ。なぜマオイスト政府はやらないのか？なぜ金満仏教会はやらないのか？なぜ本家ヒンドゥー教会は率先してやらないのか？

キリスト教会にも思惑はあるだろうが、そんなことは、教会外のどの勢力にも言う資格はない。正視しえない大罪を見て見ぬふりをしているからだ。

谷川昌幸(C)

投稿者: Tanigawa [編集](#)

2012/01/26 19:28

カテゴリー: [社会](#), [宗教](#), [人権](#)

タグ: [キリスト教](#), [バディ](#), [売春](#), [人身売買](#)

[死命を制すセキュリティ・ソフト](#)

ネットなしには生きづらくなった現代。世界世論を常に監視し、決定的なところでその動向

を決するのは、いまやセキュリティ・ソフトだ。

たとえば、もしこのブログの反動性もしくは革命性をセキュリティソフト会社の誰かが「危険」と判断し、「これは報告されている安全でない Web サイトです。このページを閲覧しないことを推奨します」といった警告を出せば、たちまち誰もこのブログを読まなくなる。

これは杞憂ではない。マオイスト系の” The Red Star” が、この数ヶ月間、McAfeeによりそうした警告を出されていた。

■ [ブロックと兵糧攻め、左派 HP へ](#)

たしかに「赤星」なんか読むと「赤く」なる。MacAfee=米帝にとって危険であり、だからこそ警告を出したのだろう（たぶん？）。ところが、マオイスト左派が既得権益に恋々とし、プラチャンダ=バブラム主流派にすり寄ると、この警告が削除された。安全と判定されたのだ。なんたるご都合主義！

いまやグーグル以上に警戒すべきは、セキュリティ・ソフト。そもそも「安全保障」をいうヤカラこそが「安全」のために軍拡し、「平和」のために戦争を仕掛けるのだ。

IT 技術者の皆さんには、世界人民のために、ぜひともセキュリティ・ソフトの安全をチェックする「メタ・セキュリティ・ソフト」を開発していただきたい。

谷川昌幸(C)

2012/01/24 11:20

カテゴリ: [情報 IT](#), [文化](#)

タグ: [セキュリティ](#), [情報](#), [検閲](#)

[存在感ます中国と韓国](#)

1. 中国の積極外交

テレグラフ(1月20日)によると、ヤン中国大使は18日の記者会見で、ネパールは外国の国家モデルを追うのではなく、ネパールに適したネパール自身の国家を構築すべきだ、と忠告した。

テレグラフの指摘をまつまでもなく、これは歴代国王の国家理念である。中国はえらい。お手本は毛沢東ではなくネパール国王なのだ。たしかに歴代ネパール国王は中国の友であった。いずれにせよ、テレグラフの分析によると、中国の対ネ外交の基調が変わった。これまでネパールにおいて中国は目立つことを慎重に避け「静かなる外交」をしてきたが、最近、その伝統的スタイルを放棄し、積極的に発言し行動するようになった。まるでインドと入れ替わったようだという。

2. 韓国の積極投資

韓国も負けてはいない。1月20日、キム大使はルンビニ開発のための2百万ドル援助協定に調印した。

韓国国際協力局(KOICA)が中心となり、「韓国の経験と知識によりルンビニを世界平和都市にする」のだそうだ(nepalnews.com, Jan20)。中国は115m大仏を建立し国威を発揚する。さて、韓国はどうする？ 700m展望塔を建て、スカイツリーを見下すか？

日本は、ルンビニでも、もはやお呼びじゃない。

谷川昌幸(C)

2012/01/22 19:12

カテゴリ: [経済](#), [外交](#)

タグ: [ルンビニ](#), [援助](#)

[「ネパール=中国友好年」と「ルンビニ観光年」](#)

1. 無礼な中国首相訪問

温家宝首相の訪ネ（1月14日）はあまりにも異例、ネパールはまるで中国の一部か属国のようであった。ネパール・メディアが、鬱鬱たる怒りを押し殺しつつ、皮肉たっぷりに伝えているところによると、経緯の概要は次の通り。

中国がネパールに首相訪問を公式に伝えたのは24時間前であり、ネパール外務省の公式発表は特別機着陸（11時50分）の48分前であった。

■ 1月13日（金）

- ・大統領、制憲議会議長への連絡＝13日午前。
- ・外務省幹部＝メディア報道で、16時頃知る。
- ・首相官邸がソルティーホテルに昼食会準備依頼＝16：30
- ・官邸の赤カーペット取り替え＝13日夕方
- ・中国大使館員らとの打ち合わせ＝13日夕方

■ 1月14日（土）

- 11:50 温首相、TIA 到着
- 12:15 バブラム首相と会談
- 12:45 首相官邸で両国公式協議
- 13:30 8 協定調印
- 13:50 昼食会。各党首ら出席
- 14:50 大統領官邸出発
- 16:00 ドーハへ向け出国

ネパールにとっては、予告無しの来訪に近い。特に、大統領、議会議長、各党首らは、ほとんど情報のないまま、突然、14日カトマンズ待機を求められたらしい。たった4時間の訪問のために。無礼千万といわざるをえない。

2. ネパール＝中国友好年2012

温首相の訪ネはわずか4時間であったが、地政学的に重要な地域での大規模ダム建設、ポカラ国際空港建設、経済協力拡大など、協定が8つも締結され、中国にとっては成果十分であった。

それらの中で、今のところあまり注目されていないが、中長期的に重要となると思われるのが、「ネパール＝中国友好年2012」の採択である。

協定によれば、2012年は「ネパール＝中国友好年」とされ、文化交流・青年交流が拡大され、「中国フェスティバル」が展開される。中長期的に、中国文化を浸透させていく計画らしい。

これは「友好」が目的だから、反友好的な行為は抑制される。具体的には、自由チベット運動。協定は、こう宣言している。

「ネパール側は繰り返し確認した——世界において中国は唯一であること、中華人民共和国政府は中国全体を代表する唯一の合法政府であること、そして台湾とチベットは中国の不可分の領域であること。またネパールは、中国の国家主権・国民統一・領域統合への努力を強く支持し、いかなる勢力にもネパール領域を反中国の活動や分離活動のために利用させることはない。このネパールの立場を、中国側は高く評価した。」

これは中国のいうがままであり、この協定により、ネパールはこれまで以上に強力でチベット自由運動や他の反中国活動を取り締まらなければならないことになった。

さて、どうするか？ ちよつとがった見方だが、この点との絡みで注目すべきは、今回約束された次の援助である。

中国は、警察力強化に1億2千5百万ルピー、武装警察学校設立に5千万ルピーの援助を約束した。これらのうち武装警察は準軍隊であり、その幹部養成を任務とするのが武装警察学校であろう。そこに中国が援助する。さすが、中国、目の付け所がよい。

中国との友好は、当然、自由チベット弾圧を意味する。

3. ルンビニ観光年2012

この「ネパール＝中国友好年2012」とリンクしているのが、「ルンビニ観光年2012」である。ヤダブ大統領は、「ネパール＝中国友好年2012」協定調印の翌日（15日）、カトマンズからルンビニに行き、そこで「ルンビニ観光年2012」を宣言した。偶然の一致ではなく、両者は連動していると見るべきだろう。

14日のカトマンズでの協議において、バブラム首相がラサーカトマンズールンビニ鉄道建設を要望したのに対し、温首相は、それは十分に可能であり、中国政府は前向きに検討する、と約束した。中国側は、やる気満々なのだ。

もしラサーカトマンズールンビニ鉄道が建設されたら、ネパールの地政学的位置は大きく変化する。あるいはまた、中国は、ルンビニの先の巨大なインド市場をも見込んでいるのかもしれない。

いずれにせよ、「ネパール＝中国友好年2012」と「ルンビニ観光年2012」は連動していると見るべきだろう。

谷川昌幸(C)

2012/01/18 13:44

カテゴリー: [経済](#), [外交](#), [文化](#), [中国](#)

タグ: [インフラ](#), [ダム](#), [ルンビニ](#), [鉄道](#), [援助](#)

中国首相の訪ネと自由チベット弾圧

さすが中国、外交がうまい。たった5時間足らずの立ち寄り訪ネで、1つの中国確認、自由チベット弾圧、経済権益拡大を一挙に実現してしまう。

1. サプライズ訪ネ

温家宝首相の訪ネは、昨年12月20日に予定されていたが、ネパール側要人らが「オレがオレが」と訪ネ実現の手柄を吹聴し、情報じゃじゃ漏れだったため、怒った中国が突然キャンセルし、ネパール側を震え上がらせた。

これに対し、今日の訪ネは完全なサプライズ。午前11時着(1時間遅延で間もなく到着予定)、バブラム首相、ヤダブ大統領、そしてもちろんプラチャンダ議長とも会ってやり、午後5時には、本来の訪問先、湾岸諸国に向かって飛び去る。

イラン危機の最中、湾岸諸国訪問がいかに重要かはいまでもない。そこに行くついでに、ちょっとカトマンズに立ち寄り、ネパールに中国の偉大を見せつけてやるわけだ。

神にせよ仏にせよ、偉大なものは隠されてある。温家宝首相の訪ネも、今回は完全なマル秘。政府高官も、政党やメディアも、何も知らされていなかった。

政府御用紙ライジングネパールによれば、9日の時点でも、NK. シュレスタ副首相兼外相は、議会委員会で中国首相の訪ネ実現に努力する、と答えている。隠していたのではなく、本当に知らなかったのだろう。

2. 自由チベット弾圧

一方、偉大な中国首相の来訪を仰ぐネパールは、最大限の貢ぎ物を差し出す。

第一に、自由チベットの弾圧。1月13日、インドからネパールに戻ったチベット人207人(女性81人)が警察に拘束された。詳細は不明だが、いずれにせよ、これが温首相歓迎のための貢ぎ物であることは明らかである。また、自由チベット弾圧と同時に、ネパール政府が「1つの中国」を繰り返し唱え、中国政府に忠誠を誓っていることはいまでもない。

暫定憲法に民族自治、包摂参加を高らかに書き込んでいることなど、全く意に介さない。憲法も人権もそっちのけ、自由チベットを弾圧し、「1つの中国」の呪文を唱えなければ、偉大な中国首相にはおいでいただけないのだ。



拘束されたチベット人 (Republica2012-1-14)

3. 経済権益の提供

またネパールは、温首相の訪ネを歓迎し、中国の要求する経済権益も、大幅に容認するだろう。

- ・ポカラ空港を国際空港に拡張……1.5 億ドル(事業総額, 以下同様)
- ・リング道路改良……5 千 5 百万ドル
- ・大規模ダム・水力発電所(3 カ所)……37 億ドル
- ・パンチカール経済特区設置
- ・ルンビニ開発

どこまで信用できるか分からないが、事業総額 80 億ドル以上ともいわれている。目もくらむ大金だ。いまや、インフラ整備も教育文化支援も、中国にシフトしつつある。巧みな外交と、有り余る資金の中国。

ネパールは、国際会議においてイザとなれば必ず中国 (またはインド) に 1 票を入れる。決して日本には入れない。これまでもそうだったし、これからはこれまで以上に日本は軽視され無視される。ネパールの友人は中国(またはインド)であって日本ではない。もはや、日本に出番はない。

谷川昌幸(C)

2012/01/14 16:05

カテゴリー: [経済](#), [外交](#), [中国](#)

タグ: [ダム](#), [チベット](#), [開発](#), [難民](#), [温家宝](#)

[韓国のルンビニ開発援助, 政府受諾決定](#)

ネパール政府は 1 月 1 2 日, 韓国からのルンビニ開発援助 2 百万ドルの受け入れを決めた。さすが韓国, 仕事が早い。そして, 宣伝上手。

もしこれが日本なら, モタモタし, たとえ同じ 2 百万ドル援助しても, せいぜい 1, 2 行のベタ記事か, 下手をすると無視されてしまう。報道されなければ, 何もしないのと同然。それが世界なのだ。

韓国は, そして中国も, 行動様式は米欧に近く, どう報道されるか——どう評価されるか——を考え, 最大限効果的な外交をやっている。見習うか, 援助をやめるか, どちらかにすべきだろう。

* ekantipur, Jan13

谷川昌幸(C)

2012/01/13 11:16

カテゴリー: [外交](#), [中国](#)

タグ: [ルンビニ](#), [韓国](#), [援助](#)

[ルンビニ開発への懸念, ユネスコ書簡](#)

1. ユネスコ, 書簡送付

ユネスコ世界遺産センターが、ネパール文化省宛の書簡(2011-12-20)で、中国系 APEC(アジア太平洋交流協力基金)主導のルンビニ開発に対する懸念を伝えた。APEC ルンビニ開発は、ユネスコのルンビニ開発マスター・プランや世界遺産条約ガイドラインに反するというのだ。

2. ユネスコ「ルンビニ保存管理強化」事業

ユネスコは、1997年にルンビニを世界遺産に登録し、2010年7月16日にはネパール政府と協定を締結、日本政府拠出基金による「ルンビニ保存管理強化」事業を開始した。

事業内容 考古学的調査、遺跡保存、丹下健三マスタープランの検証、ルンビニ管理体制の確立

参加機関 世界遺産センター、連邦省、考古学省、日本大使館、ダーラム大(英)、東京大学、ルンビニ開発トラスト、ルンビニ国際調査所

専門家委員 西村幸夫(東京大学、都市計画)、C. Comingham(英)、C. Meucci(伊)

この事業は、丹下マスタープラン(100万ドル、UNDP、1978)を継承するものであり、ユネスコの説明によれば、資金的にも人的にも日本が中心となっている。ユネスコは、このルンビニ開発計画に、APEC ルンビニ開発事業は反するというのだ。

3. 巨大仏像に五星ホテル

APEC ルンビニ開発計画によると、目玉として巨大仏像が建立される。高さ115mというから、奈良大仏(15m)や鎌倉大仏(11m)よりもはるかに大きい。そして、五つ星のプール付き高級ホテルと、4000人収容の大ホール。

さすが、中国、なんでも巨大なものが好きだ。ちまちました小国日本の比ではない。現在の制憲議会ビル(コンベンションホール)のバカでかさをみれば、中国的思考は一目瞭然。それをルンビニでもやろうというのだ。

4. 世界遺産条約違反

ルンビニ地区に、もしこんな巨大仏像や五星ホテルが建設されたら、世界遺産としての有難味は激減する。世界遺産条約はこう定めている。

■世界遺産条約実施ガイドライン(172)

「条約保護地域において、遺産の価値を害する恐れのある大規模な再建や新築を行う場合は、世界遺産委員会に通知すること……」

APEC 開発計画は、明らかに、このガイドラインに違反している。

5. 日中の代理戦争?

ルンビニ開発をめぐるこのユネスコと APEC 系との対立は、うがった見方をすれば、少なくとも外面的には、日中の代理戦争だ。

日本はユネスコ分担金を12.5%も負担しており、米国(22%)に次ぐユネスコの大パトロン。ユネスコのルンビニ開発でも、日本は、資金を提供し、日本大使館や東京大学(丹下健三—西村幸夫)が深く関与している。

一方、APEC の背後に中国政府がいることは周知の事実だ。ルンビニをめぐる、日中が争っている、と見られても仕方ない。では、日中いずれに軍配が上がるか? いかんながら、結局、日本は負けると見ざるをえない。

巨大仏像、五星ホテル、巨大ホールなど、しめて事業総額80億ドル也。しかも、われらがプラチャンダが全面支援している。日本に勝ち目はない。結局、ルンビニに巨大仏像が建つだろう。赤色かもしれないが。

▼ルンビニ開発関連記事 → 右の検索窓に「ルンビニ」を入力し検索

* Republica, 2012-01-1

* UNESCO, Strengthening the Conservation and Management of Lumbini, UNESCO HP
谷川昌幸(C)

2012/01/12 20:11

カテゴリー: [経済](#), [文化](#), [中国](#)

タグ: [プラチャンダ](#), [ルンビニ](#), [世界遺産](#)

鄧小平伝出版, 日本モデルから中国モデルへ

1

ネパールで鄧小平伝が出版された。

Pushupa Ahikari, *Deng Xiao Ping and Hong Kong*, Strategic Policy and Research Institute of Nepal, 2011.

Pushupa Adhikari : トリブバン大学政治学部准教授, 国際関係論, 中国研究。1996-2000年, 中国滞在。LSE アジア研究センター, フェロー。SANGAM 研究所元所長。

私は, 著者についても戦略研究所についても何の知識もない。新聞記事によると, 本書の出版披露をしたのは NC のラムシャラン・マハト氏なので, そちらに近い方かもしれない。また, 「SANGAM 元所長」と紹介されているので, その方面と関係がある方なのかもしれない。今のところそうしたことは分からないが, いずれにせよ, この状況下で鄧小平伝が出版されたことは, 興味深い。

2

ネパールでは, 統一共産党 (UML) はもともと改革開放路線であったが, マオイストはそれを修正主義として厳しく批判し, 中国共産党とも敵対関係にあった。プラチャンダやバブラムは, 毛沢東思想を正統に継承するのは中国共産党ではなくネパール・マオイストだ, と主張していた。

ところが, マオイストはいまや体制内最大政党, 永久(永続)革命の毛沢東主義ではやっていけない。プラチャンダやバブラムは, 事実上, 鄧小平改革開放路線に転向した。

これに対し, 四人組に相当するのが, バイダ副議長, ラムバハドール・タパ (バダル) 書記長, チャンドラプラカシ・ガジュレル (ガウラブ) 書記ら。彼らに近い「赤星」記事によると, マオイストは事実上すでに分裂しており, 公式決裂は時間の問題だという。

もちろん, ネパール四人組にとっても, 既得権益は甘〜く, おいしい。少々のごことで正式決裂はせず, ギリギリまで党内権力闘争を戦うであろう。

3

この鄧小平伝は, こうした政治状況下で出版された。著者は, 何かとウワサの SANGAM 研究所の元所長。出版披露は NC のマハト氏であり, そこにはヤン駐ネパール中国大使も出席し, 鄧小平理論の受容拡大への期待を表明した。なかなか, 複雑。

が, いずれにせよ, ネパールにおいて, 開発モデルが日本などから中国に移りつつあることは確かなようだ。

谷川昌幸(C)

2012/01/08 17:37

カテゴリー: [マオイスト](#), [中国](#)

タグ: [鄧小平](#)

民主主義か能力主義か? 火だるまの包摂参加法案

BK. グプタ法務大臣(タライ・マデシ民主党)が閣議に提出した「包摂参加法案(Inclusive Bill)」が, 官僚たちの猛攻撃を受け, 炎上, 3人委員会で再検討されることになった。

提出された「包摂参加法案」によると, すべての公共部門の人員の48%が, ジャナジャータイ, 女性, ダリットらの被抑圧諸集団に割り当てられる。残りの52%が公募。国民の29%を占めるブラーマン・チェットリは「その他」に分類され, 特権なし。

カースト/民族分類は「制憲議会選挙法」と同じとはいえ, それを公共部門全体に適用するというのは, まさに革命的, 超民主的で感動的だ。すごい, これは実にスゴイ!

この超民主的・超革命的「包摂参加法案」にたいして, 官僚たちは, もちろん大反対。そんな

ことをしたら、いまでも問題山積の行政がさらに不効率となり、大混乱、立ち往生してしまう。公務員は、能力主義(meritocracy)により公平に採用し、昇進させるべきだという。人民のための効率的行政を考えたら、この議論にも、たしかに一理ある。

民主主義か能力主義(エリート主義)か？ これは根源的な対立であり、こんな原理的議論が、現実政治の中で、このような素朴な形で戦わされている国は、他にはない。ネパールは、民主主義論の生きた学校教材としてもたいへん魅力的である。

実は、私自身にも、この問題をめぐる苦い経験がある。かつて、もっとも民主的な組合の1つとされる労働組合の代議員会にはじめて出席したときのこと。全員が男性だったので、「これはイカン、代議員の半分は女性にすべきだ」と発言したら、某有名国立大学の代議員(教員)に「そんなことをしたら不公平、能力で選出すべきだ」と猛反対され、孤立無援、ボコボコにされ、却下されてしまった。民主的とされる労働組合にして、これ。能力主義(エリート主義)の民主主義攻撃がいかに強力か、骨身にしみて実感させられた次第。

さて、ネパールはどうするか？ 包摂参加民主主義は、欧米と国連がネパールに押しつけてきたもの。その本家欧米、特に欧州では、包摂参加民主主義の諸問題が EU 危機をきっかけに一気に噴出、もはや破綻寸前となっている。それでも、ネパールは欧米や国連に義理立てし、包摂民主主義を押し進めるか？ ネパール民主化は、いま岐路に立たされているといっ

てよいだろう。

谷川昌幸(C)

2012/01/06 20:26

カテゴリ: [民主主義](#)

タグ: [能力主義](#), [meritocracy](#), [包摂参加](#), [民族](#)

ソニー・リーダーの実用性？

ソニー・リーダーPRS-650を買った。苦学生・労働者の味方、生協特価 9800 円也。

ソニーの展開するネット書店はまだ貧相で、ebook 購読は想定外。主目的は、ネットの文字情報をダウンロードし、読むためだ。

これまで、ネットの新聞や評論は、ざっと見るときはパソコン・モニターで、じっくり読むときは印刷して、読んでいた。しかし、パソコン・モニターは目に悪いし、印刷は紙とインクがもったいない。そこで、ソニーリーダーを買ったわけだ。

画面は B5 の 1/4 ほど(6 型)。E インク(電子ペーパー)のため、電池はほとんど消耗せず、1 充電で 1 万頁ほど読めるそう。また、目も疲れにくい。その限りでは、リーダーは使いやすい。

しかし、いかんせん画面が小さい。テキスト・ファイルの文字情報を横長画面表示で読んでいるが、表示文字数が少なく、前後関係を見ながら熟読することは出来ない。書籍には、はるかに及ばない。

現段階では、ソニーリーダーはまだおもちゃ。少し内容のある文章になると、使いものにならない。逆に言えば、もしこのようなリーダー(あるいは同様のモバイル情報機器)による読書が一般化すると、内田義彦のいう「浅読」「浅信」が世にはびこるようになる恐れがある。これは恐ろしい。

ソニーには、もう一頑張りし、せめて 15 インチ、できれば 24 インチ位の E インク・リーダーを発売していただきたい。24 インチで 2 ページ表示できるようになれば、本格的な読書用として普及するにちがいない。

谷川昌幸(C)

2012/01/05 19:56

カテゴリ: [情報 IT](#), [教育](#), [文化](#)

タグ: [ebook](#), [自炊](#), [電子ペーパー](#), [電子書籍](#), [読書](#), [内田義彦](#)

高島・端島と三菱財閥，軍事都市・長崎

「ネパール投資年 2012」に敬意を表し，高島に行き，三菱財閥の今昔を見学してきた。

1. 希代の政商，岩崎弥太郎

三菱創始者の岩崎弥太郎は，希代の政商，自然と人民と国家を食い物とし，巨万の富を築いた。長崎は，明治から今日にいたる，その人民搾取の生き証人である。

長崎港からフェリーに乗ると，伊王島経由で高島に着く。約 30 分。高島は，全周 6 km ほどの小さな島だが，明治 2(1869) 年，死の商人グラバーが炭鉱開発，それが後に官営となり，次に明治 14 年の官営事業払い下げで三菱のものとなる。まさに濡れ手に粟，人民財産の横取りだ。



■ 岩崎弥太郎像(高島港公園)

2. 高島からの搾取

この三菱高島炭鉱は，近代技術を導入して掘りまくり，三菱の蓄財と日本の富国強兵に大いに寄与したが，採算悪化や石油への転換のため，昭和 61 年に閉山した。

御用済みとなった高島からは，労働者・住民が退去，斜面の木造住宅の多くは廃屋となり，またコンクリート・アパートも廃虚となっているものが少なくない。

しかし，高島自体は，自然豊かな美しい小島である。真冬の正月というのに，島では早くも早春の花々が咲き，海はどこまでも碧く，透きとおっている。三菱は，この美しく豊かな南海の小島を，一時的な金儲けのため搾取し破壊したのだ。



■高島教会の十字架と鐘



■高島教会より南風泊漁港を望む



■猫一匹通らない豪華構造物（搾取の罪滅ぼし？）

3. 軍艦島(端島)

その高島以上に搾取され破壊されたのが、すぐ近くの端島。面積はわずか6haほど。三菱は、明治23(1890)年に端島を買収し炭鉱開発、高島と並ぶ出炭量となった。増産につれ、雇用労働者も増え(敗戦前は朝鮮人や中国人も雇用・徴用)、島内にはアパートが建設された。出炭最盛期は昭和16年頃で約40万トン、人口最大は昭和35年頃の約5千人。島内には、学校、病院、映画館、寺など、日常生活に必要なものはほとんどそろっていた。しかし、その端島も、昭和49年に閉山、住民は全員退去し、現在は廃虚の無人島となっている。

三菱は、端島の石炭(自然)を搾取し、軍艦を造った。だとしたら、端島は、それゆえにこそ「軍艦島」と呼ばれるべきだ。(いわれの史実については、ご自身でご確認ください。)

その軍艦島は、高島からもよく見える。廃棄軍艦よりもグロテスクで醜い。わざわざ高い料金を払って「軍艦島クルーズ」に行く必要はない。



■霧に霞む軍艦島（高島西海岸より）

4. 軍艦建造で儲ける三菱

軍需企業・三菱は、いまも軍艦を造っている。高島・伊王島フェリーに乗ると、長崎湾沿いの三菱工場群を間近で見ることが出来る。そこには、大抵、数隻の軍艦が建造や修理・点検のため、係留されている。この1月3日も、No.109 と No116 の2隻と、船番不明の1隻が係留されていた。

ネットによると、109番は護衛艦「あけぼの」(4400トン)。1999年三菱長崎造船所建造。対テロ戦争で海外派兵に使用。116番は護衛艦「てるづき」(5000トン)。2011年三菱長崎造船所建造。これから配備される。

これら2隻は、いずれも最新鋭。以前なら、こんな写真を撮ると、スパイと疑われ、逮捕、拷問は免れなかったにちがいない。



■護衛艦ありあけ



■護衛艦てるづき



■建造中(?)の軍艦

5. 軍事都市，長崎

このように、長崎は明治以降、富国強兵都市であり、現在も、軍需産業都市である。平和学習のため長崎を訪れ、官許モデルコースを回るのも悪くはない。しかし、本物の生きた学習は、長崎あるいは佐世保の現役軍需産業や軍事施設の巡視・巡検にこそある。

長崎は、原爆投下前も原爆投下後も、軍港と軍需産業の都市なのだ。

谷川昌幸(C)

2012/01/04 18:20

カテゴリ: [経済](#), [平和](#)

タグ: [炭鉱](#), [自衛隊](#), [長崎](#), [高島](#), [軍艦島](#), [軍需産業](#), [三菱](#)

[ネパール投資年 2012](#)

ネパール政府は、2012年を「ネパール投資年」とすることとし、「ネパール投資促進委員会(NBI)」を設立、銀行協会のラデシュ・パント会長を事務局長に選任した。(NBIは、バブラム首相を議長とする「ネパール投資年国家委員会」の下位執行機関。)

「世界投資レポート(WIR)」によると、ネパールの投資環境は下から8番目。この状況を改善するため、ネパール政府は、会社法、労働法、外国人投資法などを改正し、また知的財産法、経済特区法などを制定するという。

パント NBI 事務局長:「内外資本を問わず、投資を保護し、労働問題も解決する。」

このような投資促進策は、どの国でも多かれ少なかれやっているが、ネパールが特に注目されるのは、マオイスト政権だからである。マオイストは、外国資本や国内買弁資本を徹底的に攻撃し、民族資本や国内産業(特に小規模事業)を守ると繰り返し約束してきた。特に労働者・農民の権利保護は党是中の党是。そのマオイスト党公約からすれば、「ネパール投資年」など、到底は認できない反人民的・反民族的政策であるはずなのだ。

ところが、そのマオイスト政府が経団連などネパール財界と結託し、自ら「ネパール投資年 2012」を提唱、経済学者にして首相のバブラム博士がそれを主導している。もうマオイストはもたないのではないかと、バブラム派とバイダ派への分裂は、避けられないのではないかと政治家プラチャンダ議長は、どちらにつくのだろうか？

谷川昌幸(C)

2012/01/03 09:37

カテゴリ: [社会](#), [経済](#)

タグ: [経済特区](#), [自由化](#)

[ネパール雑貨満載、長崎駅ビル](#)

お正月早々、長崎駅ビル特売を見に行ったら、ネパール雑貨があふれていた。デザイン、縫製も見違えるほどよくなっており、そこそこ売れているのではないかと、洗練されすぎると、ネパールの趣がなくなる。その程合いが難しそうだ。



■長崎駅ビルのエスニック雑貨屋さん

谷川昌幸(C)

2012/01/02 10:39

カテゴリー: [経済](#)

タグ: [産業](#), [雑貨](#), [貿易](#)

[2011 in review](#)

ワードプレスが、わがブログ「ネパール評論」の評価を送ってくれた。無料なのに、なかなかサービスがよい。MSN のような無茶な改変がなく、改良は継続性が優先され安心感がある。また、他のブログサービス、たとえばヤフーのような幼稚なお仕着せデザインではなく、シンプルなものもよい。1日1記事を目標に出来るだけ長く続けていきたいと願っている。

谷川昌幸(C)

WordPress.com 統計チームは、2011 年のあなたのブログの年間まとめレポートを用意しました。

概要はこちらです。

[レポートをすべて見るにはクリックしてください。](#)

2012/01/01 12:35

カテゴリー: [その他](#), [情報 IT](#), [文化](#)

タグ: [HP 評価](#)